

11月21日（土）学会1日目

\*本プログラムは予定ですので、確定版は抄録集でご確認ください。

時間	第1会場/500名 展示場C, D	第2会場/250名 展示場B	第3会場/100名 第1会議室	第4会場/100名 第2会議室	第5会場/50名 第5会議室	第6会場 展示場A
8:30	8:30~8:35 開会式					
8:40	8:40~10:00					ポスター掲示開始
9:00	会員総会/授賞式  日本医真菌学会70周年記念式典  学会賞記念講演			JSMM & ISHAM WGs Joint Symposium 9:00~9:50 1. Fungal Nomenclature (Medically Important Fungi) – Emerging Pathogens in Humans. <b>Amir Seyedmousavi</b> 2. The Global Burden of Fungal Diseases. <b>Malcolm Richardson</b>		
9:50		10:00~10:50	10:00~10:50	10:00~10:50		
10:00		シンポジウム1 内臓真菌症の研究のいま	シンポジウム4 表在性真菌症の最新知見	3. Disseminated Mold and Yeast Infections: Diagnosis and Treatment. <b>Malcolm Richardson</b>		
10:50						
11:00		11:00~11:50	11:00~11:50	11:00~11:50		11:00~11:50
11:50		シンポジウム2 内臓真菌症の最新診断法	シンポジウム5 抗真菌薬耐性真菌	4. Antifungal Resistance Detection: Phenotypic vs. Genotypic Methods. <b>Takahito Toyotome</b> 5. Development of Novel Antifungals in Japan such as Luliconazole. <b>Kiminobu Takeda</b>		ポスターセッション  基礎1(検査など)・内臓真菌症  基礎2(薬)・皮膚科、その他 フリーセッション
12:00	12:10~12:50 ランチョンセミナー1 マラセチアの基礎と臨床を学ぶ 帝国製薬株式会社・株式会社セレンファーマ	12:10~12:50 ランチョンセミナー2 優襲性真菌感染症の治療戦略 – L-AMBの位置づけと期待役割 – 住友ファーマ株式会社	12:10~12:50 ランチョンセミナー3 真菌感染症を見逃さない臨床と検査の連携、および新興真菌 <i>Candida auris</i> の検査 関東化学株式会社			
12:50						
13:00	13:00~13:50 招聘講演1 Dr. Wieland Meyer (Westerdijk菌類生物多様性研究所)			13:00~14:00 6. Point-of-Care Diagnostic Assays and Next-Generation Sequencing. <b>Darius Armstrong-James</b>	企業控室	
13:50						
14:00	14:00~14:50 招聘講演2 韓国における皮膚真菌症の動向 Dr. Hyojin Kim(韓国医真菌学会会長)			14:00~15:30 7. Veterinary-Relevant Fungal Infections and One Health Challenges. <b>Amir Seyedmousavi</b> 8. Cutaneous and Subcutaneous Fungal Infections in Companion Animals. <b>Jacques Guillot</b> 9. Deep Fungal Infections in Companion Animals. <b>Vanessa Barrs</b>		
14:50						
15:00	15:00~15:50 特別講演1 ラマン解析の病原微生物への応用 Dr. Giuseppe Pezzotti(関西医科大学)			15:30~16:00 Coffee Break		
15:50						
16:00	16:00~18:00 スポンサーセミナー1 どう変わる？アスペルギルス マネジメント 旭化成ファーマ株式会社	16:00~16:50 シンポジウム3 デフィニティブセラピーを極めるために（薬剤耐性真菌症治療）	16:00~16:50 教育セミナー1 ガイドライン改訂のポイント1	16:00~16:50 10. Prototheca Algae: A State-of-the-Art Overview of Taxonomy, Epidemiology, and Pathogenicity. <b>Tomasz Jagielski</b>		
16:50						
17:00		17:00~17:50 スポンサーセミナー2 ルコナック爪外用液5%による爪白癬治療 佐藤製薬株式会社・サンファーマ株式会社	17:00~17:50 セレクトッドシンポジウム(一般演題口頭発表)	17:00~17:50 11. A Murine Model of Protothecosis. <b>Angelika Proskurnicka</b> 12. Molecular Typing and Anti-fungal Susceptibility Testing Against Zoophilic Dermatophytes in Europe. <b>Daniela Kolarczykova</b>		
17:50	徒歩移動					
18:30	懇親会 京王プラザホテル 5階 翔王					

11月22日(日) 学会2日目

\*本プログラムは予定ですので、確定版は抄録集でご確認ください。

時間	第1会場/500名 【午後市民講座】 展示場C, D	第2会場/250名 展示場B	第3会場/100名 第1会議室	第4会場/100名 第2会議室 JSM, JSVD & ISHAM WGs Joint Symposium	第5会場/50名 第5会議室	第6会場 展示場A
9:00	9:00~9:50 <b>シンポジウム6</b> アスペルギルス症のガイドライン	9:00~9:50 <b>教育セミナー2</b> ガイドライン改訂のポイント2	9:00~9:50 <b>教育セミナー3</b> 今さら聞けない内臓真菌症・ 主な原因菌の分類と疫学	9:00~9:50 <b>共催シンポジウム1</b> 犬のマラセチア関連皮膚炎 Jacques Guillot: フランス ナント・アトランティック国立獣医学部 Virbac Japan	9:00~9:50 <b>シンポジウム10</b> 新規抗真菌薬	
9:50						
10:00	10:00~10:50 <b>パネルディスカッション1</b> 今後の真菌症対策と研究	10:00~10:50 <b>シンポジウム7</b> 診断に手こずる白癬	10:00~10:50 <b>教育セミナー4</b> 今さら聞けない内臓真菌症・ 診断の基本: 抗原検査、培養・感受性 ミヤリサン製薬株式会社	10:00~10:50 <b>共催シンポジウム2</b> 犬のマラセチア外耳炎 Jacques Guillot Virbac Japan	10:00~10:50 <b>シンポジウム11</b> 創薬: 昆虫・代替モデル	
10:50						
11:00	11:00~11:50 <b>特別講演2</b> ワンヘルス	11:00~11:50 <b>シンポジウム8</b> 治療に手こずる白癬(爪白癬編) 科研製薬株式会社		11:00~11:50 <b>共催シンポジウム3</b> 動物の皮膚糸状菌症 大隅 尊史 東京動物皮膚科センター	11:00~11:50 <b>シンポジウム12</b> 新たな抗真菌戦略(アロマなど)	
12:00	12:00~12:50 <b>ランチョンセミナー4</b> ルコナック爪外用液5%による爪白癬治療 佐藤製薬株式会社	12:00~12:50 <b>ランチョンセミナー5</b> 深在性真菌症Up-to date MSD	12:00~12:50 <b>ランチョンセミナー6</b> 市中病院における真菌検査 栄研化学株式会社	12:00~12:50 <b>ランチョンセミナー7</b> 犬のシャンプー/イアークレンジング 大嶋 有里 犬と猫の皮膚科株式会社QIX		
12:50						
13:00	13:00~15:40 <b>【公開講座】地球規模のカビとヒト-時空と空間を越えて-</b> オープニング 日本菌学会共催特別講演 役に立つ菌・困った菌 <b>特別講演3</b> 宇宙で共に暮らすカビとヒト <b>特別講演4</b> 土壌から地球の歴史を探る	13:00~14:00 (皮膚科専門医単位認定) <b>シンポジウム9</b> フットケア	13:00~13:50 <b>教育セミナー5</b> 今さら聞けない内臓真菌症・ 診断の基本、病理学的診断	13:00~13:50 <b>共催シンポジウム4</b> 動物の真菌症からのサンプリング法 Vanessa Barrs: 香港大学 富士フィルム株式会社	13:00~13:50 <b>日本医真菌学会次世代研究者受賞講演</b>	
13:50						
14:00		14:15~15:15 (皮膚科専門医単位認定) <b>パネルディスカッション3</b> 今後の皮膚真菌症診療 診療上の問題点、耐性真菌、 新人への教育など	14:00~14:50 <b>教育セミナー6</b> 今さら聞けない内臓真菌症・ 治療の基本	14:00~14:50 <b>動物の真菌症の症例検討1</b> モデレーター/症例提示: Jacques Guillot, Vanessa Barrs, Miki Omura  1. Feline Oomycosis: <b>Vanessa Barrs</b> 2. Dermatophytosis in Domestic Animals in France. <b>Jacques Guillot</b> 3. Malassezia Dermatitis in Dogs Presenting with Hyphal Morphology. <b>Yuki Sawa</b>		
14:50						
15:00	<b>パネルディスカッション2</b>  <b>クロージング</b>			15:00~16:00 <b>動物の真菌症の症例検討2</b> モデレーター: Jacques Guillot, Vanessa Barrs, Miki Omura  1. Feline Oomycosis in Taiwan: <b>Wei-Ling Hu</b> 2. A Case of Feline Protothecosis: <b>Satoko Kanda</b> 3. A Case of Feline Sino-Orbital Aspergillosis: <b>Fusako Takeo</b>		ポスター掲示終了
16:00						
16:05		16:05~16:20 閉会式 写真展表彰式				
16:30	16:30~18:00 ICD講習会					